

## 東京大学アカデミカコール演奏会賛助出演の報告

去る6月30日(土)、東京晴海の「第一生命ホール」で開催された東京大学アカデミカコール演奏会に東北大学男声OB合唱団が賛助出演し、男声合唱組曲「沙羅」(作詞：清水重道、作曲：信時 潔、編曲：木下 保)を、S52年卒の須田信男君の指揮(ピアノ伴奏 永井陽子さん)で歌い、会場のお客様や当プロジェクト関係者から高い評価をいただきました。

同じ賛助演奏には、京都大学グリークラブOB会が参加しました。

三大学合同のステージでは、三澤洋史氏の指揮で、多田武彦男声合唱曲「柳河風俗詩」、「藁科」、「富士山」より6曲を大合唱し、会場から好評を得ました。

「第一生命ホール」は700席あまりの音響効果の高いホールですが、今年1月から10回ほどの猛練習を積んできた51名のOBの方々がその成果を発揮して、満員の会場に絶妙なハーモニーを響かせ、見事に「沙羅」の心を歌い上げました。

当日、練習中のリハーサル室には梁瀬参議院議員が掛けつけてくださりお祝いもいただき、意を強くしてステージに臨むことが出来たというエピソードもありました。ちなみに、議員も一時は男声の団員であられたとか。

演奏会終了後に開かれた打ち上げ会には200名近い関係者が集まり、三大学は互いに合唱でエールの交歓をしたりアカデミカコールのステージでホルンの伴奏をした4名のホルン奏者の伴奏で「野ばら」を歌ったりして大変な盛り上がり様を呈し、この関係を定期的なものにしたいという声も出たほどでした。

この賛助出演の実行に当りましては実に多くのOBの方々のご理解とご支援をいただきました。これはOB会の活動として大きな収穫であります。

ここに、お世話になりましたOBの関係者各位に御礼を申し上げます。

なお、12月22日(土)に予定されている第55回男声定演では「富士山」の合同演奏も決まり、多くのOBの方のご参加をお待ちしています。各学年委員を通じて事務局までご連絡ください。

07.7.1

OB会東京支部 春日 健